



ドロンタール[®]プラス錠

動物用医薬品

犬に寄生する線虫類及び条虫類の駆除剤

犬用

20錠



使用にあたっては本添付文書をよく読むこと

ドロンタールプラス錠は有効成分としてプラジクアンテル (Praziquantel)、パモ酸ピランテル (Pyrantel pamoate) 及びフェバンテル (Febantel) を含み、広い駆虫スペクトルを有し、線虫類及び条虫類に対し単回投与で効果が得られる新しいタイプの駆除剤です。

●特長

- 単回投与で主要な消化管内寄生蠕虫を駆除できる広い駆虫スペクトルを有します。
- 複数の有効成分の配合による駆虫効果は、相乗的にあるいは相加的に発現します。
- 複数の有効成分の配合により、寄生虫の耐性発現が遅延します。
- 臨床上確認することのできない未成熟の寄生虫の駆除剤としても有用です。
- 広い駆虫スペクトルと投薬に特別な処置を必要としないことから、獣医師及び飼い主の負担を軽減できます。



●成分及び分量

- 本品1錠 (660mg) 中に、プラジクアンテル50mg、パモ酸ピランテル144mg、フェバンテル150mgを含有する。

●効能又は効果

- 犬：犬回虫、犬鉤虫、犬鞭虫、瓜実条虫の駆除。

●用法及び用量

- 通常1回、体重1kg当たりプラジクアンテル5mg、パモ酸ピランテル14.4mg、フェバンテル15mg (体重10kg当たり1錠) を基準量として次の量を経口投与する。

体重 0.5kg 以上 2.5kg 未満	1/4錠
体重 2.5kg 以上 5kg 未満	1/2錠
体重 5kg 以上 10kg 未満	1錠
体重 10kg 以上 20kg 未満	2錠
体重 20kg 以上 30kg 未満	3錠
体重 30kg 以上 40kg 未満	4錠

※裏面も必ずお読みください。

安全にお使いいただくために—よく読んで理解してお使いください—

●使用上の注意

【一般的注意】

- (1)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3)本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

【使用者に対する注意】

本剤の有効成分ブラジクアンテルは、有機溶剤等に溶解した場合等、溶液の状態においては皮膚から吸収されることが知られているので、薬剤が投薬作業者の皮膚に触れることのないように注意すること。なお、誤って皮膚に付着した場合には、直ちに石けんで洗い流すこと。

【犬に対する注意】

1. 制限事項

- (1)本剤の有効成分であるフェバンテルは、ラットの高用量投与で催奇形性が認められているので、妊娠している犬には投与しないこと。
- (2)本剤は2週齢未満の犬には投与しないこと。
- (3)本剤は体重0.5kg未満の犬には使用しないこと。
- (4)本剤は犬以外の動物に使用しないこと。

2. 副作用

副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

3. 相互作用

本剤の有効成分であるパモ酸ピランテルは、ピペラジンと互いに拮抗する可能性があるため、併用は避けることが望ましい。

【取扱い上の注意】

使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【保管上の注意】

- (1)小児の手の届かないところに保管すること。
- (2)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- (3)誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

【その他の注意】

本剤投与による瓜実条虫駆除の確認の際、体節がバラバラになり半透明の状態で排出されるので注意深く観察すること。

®はドイツ・バイエル社登録商標

製造販売元(輸入発売元)

バイエル薬品株式会社

動物用薬品事業部

〒100-8265 東京都千代田区丸の内1-6-5

www.bayer-ah.jp

Bayer